

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2003-205737

(P2003-205737A)

(43)公開日 平成15年7月22日 (2003.7.22)

(51)Int.Cl.

識別記号

F I

テ-ヤコ-ト(参考)

B 6 0 J 3/02

B 6 0 J 3/02

N 3 D 0 2 2

B 6 0 R 7/05

B 6 0 R 7/05

審査請求 未請求 請求項の数3 OL (全6頁)

(21)出願番号 特願2002-2596(P2002-2596)

(71)出願人 390026538

西川化成株式会社

広島県広島市安佐北区可部南2丁目25番31
号

(72)発明者 高原 利昭

広島市安佐北区可部南2丁目25番31号 西
川化成株式会社内

(74)代理人 100077931

弁理士 前田 弘 (外7名)

Fターム(参考) 3D022 CA01 CC005 CD06

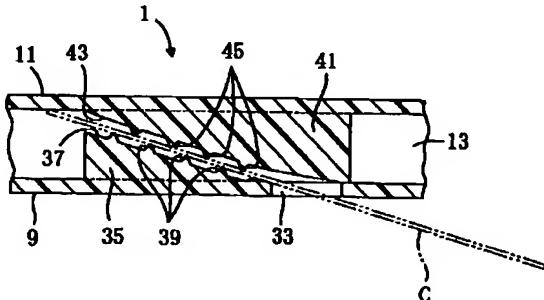
(22)出願日 平成14年1月9日 (2002.1.9)

(54)【発明の名称】 車両用サンバイザ

(57)【要約】

【課題】 別部品を用いることなくサンバイザ本体そのものでカードを確実に保持するとともに、カードの脱着操作を簡単かつ迅速に行う。

【解決手段】 サンバイザ本体1を表側部材9と裏側部材11とで内部に中空部13を有するように構成する。表側部材9にカード挿入口33を形成するとともに、カード挿入口33の一方の長辺側から中空部13側に向けて徐々に傾斜する第1傾斜面37を有する第1ホルダ部35を表側部材9の中空部13側に突設する。裏側部材11に第1傾斜面37に沿って徐々に傾斜する第2傾斜面43を有する第2ホルダ部41を第1ホルダ部35に対向して中空部13側に突設する。カード挿入口33から挿入されたカードCを第1傾斜面37と第2傾斜面43との間で抜き差し可能に保持する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 車幅方向に延びる長尺の板状サンバイザ本体が車室の前部天井面に沿うように位置する格納位置と車両のフロントウインド内面に沿うように位置する遮光位置とに切り替え可能に配設される車両用サンバイザであって、

上記サンバイザ本体は、格納位置において車室側に面する板状表側部材と天井側に面する板状裏側部材により構成されて内部に中空部を有し、

上記表側部材及び裏側部材のいずれか一方には、上記中空部に向けて貫通し上記サンバイザ本体の長手方向と直交する方向に延びる矩形状のカード挿入口が形成され、かつ該カード挿入口の一方の長辺側から中空部側に向けて徐々に傾斜する第1傾斜面を有する第1ホルダ部が中空部側に突設され、

上記表側部材及び裏側部材のいずれか他方には、上記カード挿入口から挿入されたカードを上記第1傾斜面との間で抜き差し可能に保持するよう該第1傾斜面に沿って徐々に傾斜する第2傾斜面を有する第2ホルダ部が中空部側に突設されていることを特徴とする車両用サンバイザ。

【請求項2】 請求項1記載の車両用サンバイザにおいて、

第1傾斜面及び第2傾斜面の少なくとも一方には、カード挿入口から挿入されたカードを当接保持する複数の突起が突設されていることを特徴とする車両用サンバイザ。

【請求項3】 請求項1記載の車両用サンバイザにおいて、

第1ホルダ部及び第2ホルダ部の少なくとも一方は、弹性機能を有していることを特徴とする車両用サンバイザ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、車両の運転席や助手席への直射光を避けるために車室の前部天井面に取り付けられるサンバイザの改良に関し、特にカードを抜き差し可能に保持する機能を備えたサンバイザに関するものである。

【0002】

【従来の技術】上述の如きカード保持機能を備えたサンバイザとして、実開平6-51001号公報には、サンバイザ本体に弹性クリップを取り付け、この弹性クリップの弹性力によりカードを挟持するようにしたサンバイザが開示されている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかし、上記の公報例のサンバイザでは、サンバイザ本体とは別に弹性クリップという別部品が必要であり、その分、部品点数が増えてコストが嵩む。

10

20

30

40

50

【0004】また、カードの端部を弹性クリップで挟むだけであるため、カードをきちんと挟み込んでいない場合や弹性クリップの挟持力が弱い場合にはカードが外れて落下するおそれがある。

【0005】さらには、カードをサンバイザ本体に対して脱着する際、一々、弹性クリップを手で持ち上げなければならず、カードの脱着操作が煩わしい。

【0006】この発明はかかる点に鑑みてなされたものであり、その目的とするところは、別部品を用いることなくサンバイザ本体そのものでカードを確実に保持するとともに、カードの脱着操作を簡単かつ迅速に行うことである。

【0007】

【課題を解決するための手段】上記の目的を達成するため、この発明は、カードをサンバイザ本体の内部に挿入保持するようにしたことを特徴とする。

【0008】具体的には、この発明は、車幅方向に延びる長尺の板状サンバイザ本体が車室の前部天井面に沿うように位置する格納位置と車両のフロントウインド内面に沿うように位置する遮光位置とに切り替え可能に配設される車両用サンバイザを対象とし、次のような解決手段を講じた。

【0009】すなわち、請求項1に記載の発明は、上記サンバイザ本体は、格納位置において車室側に面する板状表側部材と天井側に面する板状裏側部材により構成されて内部に中空部を有し、上記表側部材及び裏側部材のいずれか一方には、上記中空部に向けて貫通し上記サンバイザ本体の長手方向と直交する方向に延びる矩形状のカード挿入口が形成され、かつ該カード挿入口の一方の長辺側から中空部側に向けて徐々に傾斜する第1傾斜面を有する第1ホルダ部が中空部側に突設され、上記表側部材及び裏側部材のいずれか他方には、上記カード挿入口から挿入されたカードを上記第1傾斜面との間で抜き差し可能に保持するよう該第1傾斜面に沿って徐々に傾斜する第2傾斜面を有する第2ホルダ部が中空部側に突設されていることを特徴とする。

【0010】上記の構成により、請求項1に記載の発明では、カードはサンバイザ本体の中空部側に突設された第1ホルダ部と第2ホルダ部との各々の傾斜面で保持されるため、上記従来例のような弹性クリップという別部品がいらぬ、安価なサンバイザが得られる。

【0011】また、カードがサンバイザ本体の中空部内に挿入されて中空部内で保持されているため、カードが安定保持される。

【0012】さらに、カードの抜き差しは、カードをカード挿入口に対し押し込んだり引き抜いたりするだけによく、カードの脱着操作が簡単かつ迅速になる。

【0013】請求項2に記載の発明は、請求項1に記載の発明において、第1傾斜面及び第2傾斜面の少なくとも一方には、カード挿入口から挿入されたカードを当接

保持する複数の突起が突設されていることを特徴とする。

【0014】上記の構成により、請求項2に記載の発明では、カードが傾斜面の突起で当接保持されるため、カードの落下防止が確実になる。

【0015】請求項3に記載の発明は、請求項1に記載の発明において、第1ホルダ部及び第2ホルダ部の少なくとも一方は、弾性機能を有していることを特徴とする。

【0016】上記の構成により、請求項3に記載の発明では、第1ホルダ部及び第2ホルダ部に製作誤差があった場合にも、ホルダ部の弾性により上記誤差が吸収され、カードの挿入が容易となる。また、カードがホルダ部の弾性力により圧接保持されるため、カードの落下防止が一層確実になる。

【0017】

【発明の実施の形態】以下、この発明の実施の形態について図面に基づいて説明する。

【0018】図4及び図5はこの発明の一実施形態に係るサンバイザSを示す。このサンバイザSは、車幅方向に延び所定の遮光面積を有する偏平な長尺の樹脂製板状サンバイザ本体1とL字形のステー3とからなる。該ステー3は、水平軸部3aと該水平軸部3aの一端から鉛直に延びる鉛直軸部3bとからなり、該鉛直軸部3bの先端にはブラケット5が取り付けられている。そして、上記サンバイザ本体1をステー3の水平軸部3aに回動自在に保持した状態で、ステー3を車両の車室(運転室)の前部天井面7にブラケット5を介して回動自在に取り付けることにより、サンバイザ本体1がステー3の鉛直軸部3bを回動軸としてほぼ水平方向へ回動するとともに、水平軸部3a回りに上下方向へ回動して前部天井面7に沿うように位置する格納位置(図5実線の状態)と、車両のフロントウインド(図示せず)内面に沿うように位置する遮光位置(図4及び図5仮想線の状態)とに切り替え可能に前部天井面7に配設されている。

【0019】上記サンバイザ本体1は、図2及び図3に示すように、格納位置において車室側に面する板状表側部材9と、天井側に面する板状裏側部材11とにより構成されて内部に中空部13を有している。

【0020】上記サンバイザ本体1は、インジェクション成形により上下対称の半剖形状に成形され、中央の断面V字形の薄肉ヒンジ15を介して上記表側部材9と裏側部材11とが一体的に連結されている。また、上記表側部材9及び裏側部材11の外周部には外周係合部17、19がそれぞれ形成され、両外周係合部17、19を互いに係合させることにより、偏平板状に組み合わされて内部に中空部13を形成するようになっている。

【0021】上記表側部材9の一端側(図3右側)には嵌合溝21a、23aが1つずつ形成され、一方、上記

10

20

30

40

50

裏側部材11の一端側(図3右側)にも嵌合溝21b、23bがそれぞれ1つずつ形成され、これら嵌合溝21a、23aと嵌合溝21b、23bとは上記薄肉ヒンジ15を中心として上下対称に配置されていて、表側部材9と裏側部材11とを組み合わせた状態で互いに突き合わされて、上記ステー3の水平軸部3aを回動可能に保持する円形の保持孔を構成するようになっている。

【0022】また、上記表側部材9及び裏側部材11の他端側(図3左側)には、展開状態で矩形開口部を構成するコの字形の開口部25a、25bが上記薄肉ヒンジ15を中心として上下対称に形成され、表側部材9の開口部25aには係止ピン27が一体的に形成されているとともに、裏側部材11の開口部25b周縁には嵌合溝29が2つ形成されていて、表側部材9と裏側部材11とを組み合わせた状態で上記係止ピン27が上記嵌合溝29に嵌合するようになっている。この係止ピン27は、前部天井面7に設けられた係止片31(図5参照)に係脱可能かつ回動可能に係合してサンバイザSをバタ付かないように保持するためのものである。

【0023】この発明の特徴として、上記表側部材9には、図1にも示すように、上記中空部13に向けて貫通し上記サンバイザ本体1の長手方向と直交する方向に延びる細長い矩形状のカード挿入口33が形成されているとともに、表側部材9の裏面には、5つの細長い第1ホルダ部35が上記カード挿入口33に隣接して所定の間隔をあけて中空部13に突設されている。上記第1ホルダ部35の突出端には、上記カード挿入口33の一方の長辺側から中空部13側に向けて徐々に傾斜する第1傾斜面37が形成され、該第1傾斜面37には5つの山形の突起39が所定間隔をあけて突設されている。

【0024】一方、上記裏側部材11の裏面にも、5つの細長い第2ホルダ部41が上記第1ホルダ部35に対向して中空部13側に突設されている。上記第2ホルダ部41の突出端には、上記第1ホルダ部35の第1傾斜面37に沿って徐々に傾斜する第2傾斜面43が形成され、該第2傾斜面43にも4つの山形の突起45が上記第1傾斜面37の隣り合う突起39間に位置するように所定間隔をあけて突設されている。そして、上記カード挿入口33から挿入されたカードCを上記第1ホルダ部35の第1傾斜面37と第2ホルダ部41の第2傾斜面43との間で各々の突起39、45により抜き差し可能に当接保持するようになっている。

【0025】このように、上記の実施形態では、サンバイザ本体1の中空部13内にカード挿入口33から挿入したカードCを上記中空部13内の第1ホルダ部35の第1傾斜面37と第2ホルダ部41の第2傾斜面43との間に挿入して当接保持するようにしていることから、従来のような弾性クリップを別途用意せずに済み、安価にサンバイザSを製作することができる。この際、上記第1ホルダ部35側の突起39と第2ホルダ部41側の

突起45とでカードCを挟持するので、カードCを落下することなく確実に当接保持することができる。

【0026】また、カードCをサンバイザ本体1の中空部13内に挿入して中空部13内で保持していることから、カードCを落下することなく安定して保持することができる。

【0027】さらに、カードCをカード挿入口33に差し込んだり、あるいは逆に引き抜くだけでよいことから、カードCの脱着操作を簡単かつ迅速に行うことができる。

【0028】図6は別の実施形態に係るサンバイザSのサンバイザ本体1を示す。この実施形態では、第1ホルダ部35及び第2ホルダ部41の突出端側に発泡層からなる弾性材47を一体に形成して第1ホルダ部35及び第2ホルダ部41にそれぞれ弾性機能を付与し、さらに、該弾性材47の表面にカードCの挿入抵抗を少なくするための平滑層としての樹脂製表皮49を一体に接合しているほかは、上記の実施形態と同様に構成されているので、同一の構成箇所には同一の符号を付してその詳細な説明を省略する。

【0029】したがって、この実施形態では、上記の実施形態と同様の作用効果を奏することができるものである。加えて、この実施形態では、挿入したカードCを第1ホルダ部35及び第2ホルダ部41の弾性材47が有する弾性力により圧接保持することができることから、第1ホルダ部35及び第2ホルダ部41に製作誤差があった場合にも、ホルダ部35、41の弾性により上記誤差を吸収してカードCを容易に挿入することができるとともに、カードCの落下防止を一層確実にすることができる。

【0030】なお、上記の実施形態では、サンバイザSとして、表側部材9と裏側部材11とを横方向に延びる薄肉ヒンジ15を介して上下に一体成形した場合を示したが、図7に示すように、縦方向に延びる薄肉ヒンジ15を介して左右に一体成形した場合であってもよく、さらに、表側部材9と裏側部材11とが別々に成形された場合であってもよい。

【0031】また、上記の実施形態では、表側部材9と裏側部材11の外周係合部17、19を互いに係合させてサンバイザ本体1としたが、接着剤による接合や溶着等の手段により表側部材9と裏側部材11とを一体化してサンバイザ本体1としてもよい。

【0032】さらに、上記の実施形態では、カード挿入口33を表側部材9側に形成した場合を示したが、裏側部材11側に形成してもよく、この場合には、サンバイザ本体1を前部天井面7に沿わせた格納状態でカード挿入口33が見えないので見栄えを向上させることができるとともに、カード挿入口33が上を向いているので万が一にも落下するおそれがない。

【0033】さらにまた、上記の実施形態では、第1ホ

ルダ部35及び第2ホルダ部41の両方に突起39、45を形成したが、いずれか一方であってもよい。また、弾性材47も表側部材9及び裏側部材11の両方に設ける必要はなく、いずれか一方だけであってもよい。

【0034】加えて、上記の実施形態では、第1ホルダ部35と第2ホルダ部41とを対向配置したが、互いに相手側の隣り合うホルダ部間に位置させてもよい。

【0035】また、上記の実施形態では、第1ホルダ部35及び第2ホルダ部41を5本の独立した細長い突条体で構成したが、それぞれ偏平な一面で構成してもよい。

【0036】

【発明の効果】以上説明したように、請求項1に係る発明によれば、カードをサンバイザ本体の中空部内で第1ホルダ部の第1傾斜面と第2ホルダ部の第2傾斜面とで保持するようにしたので、弾性クリップの如き別部品がいらない分だけサンバイザを安価に提供することができるとともに、カードの落下を安定保持することができ、さらには、カードをワンタッチで簡単かつ迅速に抜き差しすることができる。

【0037】請求項2に係る発明によれば、第1傾斜面及び第2傾斜面の少なくとも一方に複数の突起を突設してカード挿入口から挿入されたカードを当接保持するようにしたので、カードを落下することなく確実に保持することができる。

【0038】請求項3に係る発明によれば、第1ホルダ部及び第2ホルダ部の少なくとも一方に弾性機能を持たせたので、第1ホルダ部及び第2ホルダ部に製作誤差があった場合にも、ホルダ部の弾性により上記誤差を吸収してカードを容易に挿入することができるとともに、カードをホルダ部の弾性力により圧接保持してカードの落下防止を一層確実に行うことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】図5のA-A線における断面図である。

【図2】図5のB-B線における断面図である。

【図3】一実施形態におけるサンバイザ本体の展開例である。

【図4】一実施形態に係るサンバイザの正面図である。

【図5】一実施形態に係るサンバイザの格納状態を示す斜視図である。

【図6】別の実施形態におけるサンバイザ本体の図1相当図である。

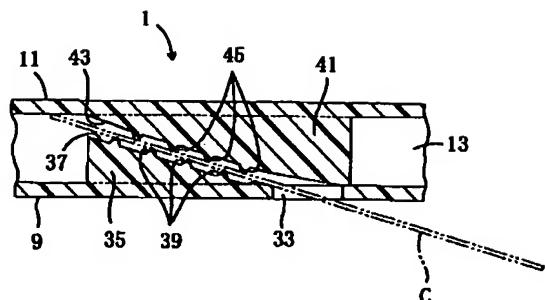
【図7】サンバイザ本体の別の展開例ある。

【符号の説明】

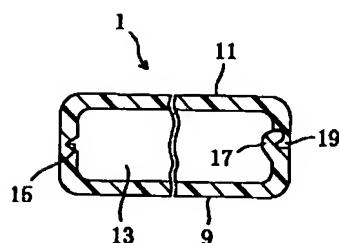
1	サンバイザ本体
7	前部天井
9	表側部材
11	裏側部材
13	中空部
33	カード挿入口

7		8	
35	第1ホールダ部	43	第2傾斜面
37	第1傾斜面	47	弾性材
39, 45	突起	C	カード
41	第2ホールダ部	S	サンバイザ

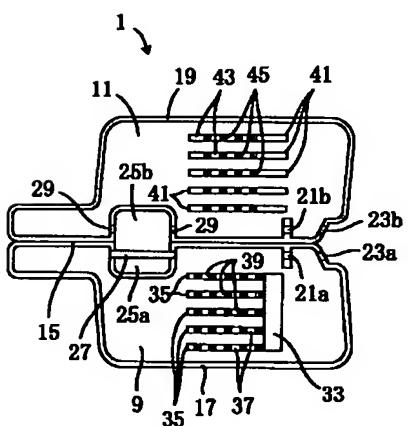
【図1】



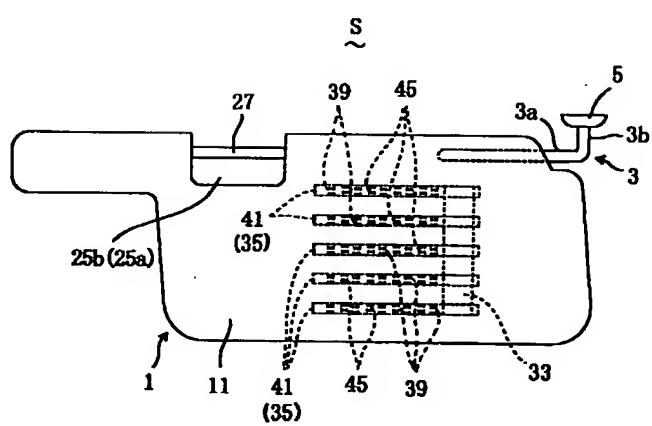
【図2】



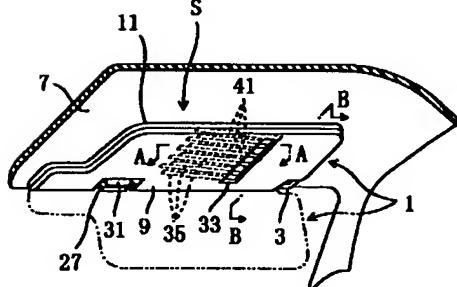
【図3】



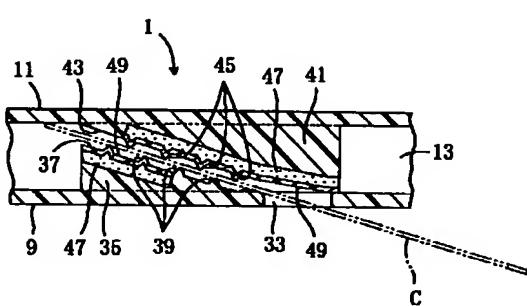
【図4】



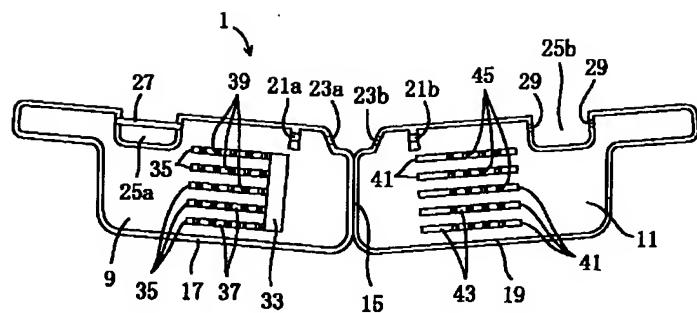
【図5】



【図6】



【図7】



DERWENT-ACC-NO: 2003-574113

DERWENT-WEEK: 200354

COPYRIGHT 2007 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Sun visor for vehicles, has holders having slopes which hold extractable card inserted from card slot

PATENT-ASSIGNEE: NISHIKAWA KASEI KK[NISHN]

PRIORITY-DATA: 2002JP-0002596 (January 9, 2002)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO IPC	PUB-DATE	LANGUAGE	PAGES	MAIN-
JP 2003205737 A	July 22, 2003	N/A	006	B60J 003/02

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO	APPL-DATE
JP2003205737A	N/A	2002JP-0002596	January 9, 2002

INT-CL (IPC): B60J003/02, B60R007/05

ABSTRACTED-PUB-NO: JP2003205737A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - A holder (35), having a slope (37) that inclines gradually towards a hollow portion (13) from one long side of a card slot (33), protrudes to the hollow portion side of a front-side member (9). A holder (41), having a slope (43) that inclines gradually along the slope (37), protrudes to the hollow portion, opposing the holder (35). A card (C) inserted from the card slot is held extractable between the slopes.

DETAILED DESCRIPTION - The sun-visor main body (1), which has the hollow portion inside, is formed from the front-side member, and the backside member (11). The rectangular card slot, which penetrates towards the hollow portion, and extends to the direction orthogonal to the longitudinal direction of the sun-visor main body, is formed at the front-side member.

USE - Used in order to avoid the direct light to the driver's seat and front passenger seat of a vehicle.

ADVANTAGE - Reliably holds a card. Simplifies insertion of a card.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows the sectional drawing of the storing state of the sun visor.

Sun-visor main body 1

Front-side member 9

Backside member 11

Hollow portion 13

Card slot 33

Hollow portion 33

Holder 35

Slope 37

Holder 41

Slope 43

Card C

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/7

**TITLE-TERMS: SUN VISOR VEHICLE HOLD SLOPE HOLD EXTRACT
CARD INSERT CARD SLOT**

DERWENT-CLASS: Q12 Q17

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N2003-456649